

否定動詞 لَيْسَ

私は金持ちではない。
lastu ghanīyan.



لَسْتُ غَنِيًّا.

私は車を持っていない。
laysat 'ind-ī sayyāratun.



لَيْسَتْ عِنْدِي سَيَّارَةٌ.

動詞の入らない文の否定には、動詞 لَيْسَ (laysa) が用いられます。لَيْسَ は完了形と同じような活用をしますが、現在の否定に用いられます。

複数	双数	単数	
لَيْسُوا laysū	لَيْسَا laysā	لَيْسَ laysa	彼、それ
لَسْنَ lasna	لَيْسَاتَا laysatā	لَيْسَتْ laysat	彼女、それ
لَسْتُمْ lastum	لَسْتُمَا lastumā	لَسْتُ lasta	あなた(男)
لَسْتُنَّ lastunna		لَسْتِ lasti	あなた(女)
لَسْنَا lasnā		لَسْتُ lastu	私

否定動詞 لَيْسَ は、名詞文の述語を対格にします。対格になった述語は「ライサの補語」と呼ばれます。

その男はけちである。
ar-rajulu bakhīlun.

الرَّجُلُ بَخِيلٌ.
述語 主語

その男はけちではない。
laysa r-rajulu bakhīlan.

لَيْسَ الرَّجُلُ بَخِيلًا.
ライサの補語 主語

その女性は幸福である。
al-mar'atu sa'īdatun.

الْمَرْأَةُ سَعِيدَةٌ.
述語 主語

その女性は幸福ではない。
laysati l-mar'atu sa'īdatan.

لَيْسَتِ الْمَرْأَةُ سَعِيدَةً.
ライサの補語 主語

学生たちは講堂にいる。
aṭ-ṭullābu fi l-qā'ati.

الطُّلَّابُ فِي الْقَاعَةِ.
述語 主語

学生たちは講堂にはいない。
laysa ṭ-ṭullābu fi l-qā'ati.

لَيْسَ الطُّلَّابُ فِي الْقَاعَةِ.
ライサの補語 主語

* 前置詞は格変化しません。

図書館にはアラビア語の本がある。
fi l-maktabati kutubun 'arabīyatun.

فِي الْمَكْتَبَةِ كُتِبَ عَرَبِيَّةٌ.
主語 述語

図書館にアラビア語の本はない。
laysat fi l-maktabati kutubun
'arabīyatun.

لَيْسَتِ فِي الْمَكْتَبَةِ كُتِبَ عَرَبِيَّةٌ.
主語 ライサの補語

* 最後の例文のように、動詞と主語が離れているときは、主語が女性名詞（または人間以外の複数）でも、動詞を男性形にしてかまいません。

図書館にアラビア語の本はない。
laysa fi l-maktabati kutubun
'arabīyatun.

لَيْسَ فِي الْمَكْتَبَةِ كُتِبَ عَرَبِيَّةٌ.
主語 動詞